

## 第2回 運営推進会議

---

平成29年3月16日(木)

10:15～

ふじしろデイサービス



ふじしろデイサービス

居宅介護支援 ふじしろ

# 次第



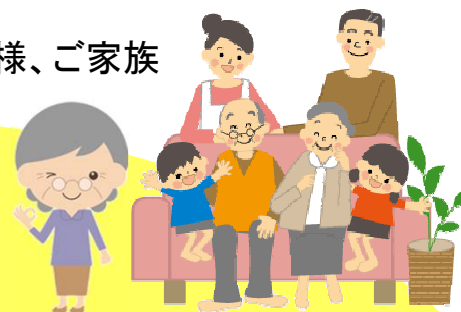
1. ごあいさつ 【センター長 渡部浩考】  
～本会議の趣旨(目的)について～
2. ふじしろデイサービスのご紹介 【センター長 渡部浩考】
3. H28年度後期の活動紹介 【統括マネージャー 渡部美保子】
4. H29年度へ向けて 【統括マネージャー 渡部美保子】
5. 意見交換他
6. 1Fフロア活動のご見学

# 本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

利用者様、ご家族



地域の方々



中郷地区(藤代町)



三島市(包括)、有識者



ふじしろデイサービス

定期的(半年に1回)に開催して、情報を共有したり、意見交換をしたりすることで、地域全体で介護サービスの質の向上を実現していく。



# ふじしろデイサービスのご紹介1

## 【開設】

平成20年2月1日

通所介護(要介護)／介護予防通所介護(要支援)  
に関するサービスを提供する事業所として認可・開所

(平成28年4月1日より地域密着型通所介護へと移行)

1日のご利用定員 …… 10名

サービス提供時間 …… 9:15～16:30

- ・市内でも小規模事業所が少なかった頃の開所
- ・小規模事業所の特徴を活かして個別ケアにこだわる。
- ・認知症や個別の事情がある利用者様からのご支持をいただく。
- ・併設の居宅介護支援ふじしろ のケアマネージャーとも連携して難しいケースにも積極的に取り組んできました。



# ふじしろデイサービスのご紹介2

## 【事業所情報】

ふじしろデイサービス(事業所番号:2270600659)  
〒411-0812 静岡県三島市藤代町11番地の10  
TEL:055-975-2435 FAX:055-975-2448  
ホームページ: <http://www.com-work.jp/>



## 【関係事業所】

平成20年2月1日

居宅介護支援事業所ふじしろ(ケアマネージャーが常駐)

- 困難ケースにも積極的に取組み少数精鋭主義で運営
- H28年4月よりケアマネージャーを増員し積極展開へ

平成24年1月1日

デイサービス若芝(通所介護／介護予防通所介護)

- 認知症にターゲットを絞り込んで運営
- 認知症ケアの専門集団を目指して頑張っています。



# ふじしろデイサービスのご紹介3



## <ご利用実績>

ご登録人数:22名

◆2月のご利用実績

平均稼働率=88%

※1日の定員10名に対して、毎日9名弱のご利用(お休み等があるため)

## <ご利用予定(3月1日時点)>

月	火	水	木	金	土
10名	10名	9名	10名	10名	10名

認知症が主訴である方が7割

性格として小さくて穏やかな空間を好む方が3割

ご自宅での生活の継続をご支援！！  
認知症の症状にも細やかに対応！！

介護度	人数
要支援1	1名
要支援2	2名
要介護1	7名
要介護2	8名
要介護3	3名
要介護4	1名
要介護5	0名

# ふじしろデイサービスのご紹介4



## <スタッフ体制>

	ふじしろ	若芝
相談員	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名
介護職	専任3名、兼務者1名	専任4名、兼務者2名
看護師(機能訓練指導員)	1名	1名
ケアマネージャー	専任2名、兼務者2名	—

## <保有資格者数(ふじしろ・若芝)>

- ・介護福祉士(国家資格): 11名
- ・認知症ケア専門士 : 5名
- ・ケアマネージャー : 4名
- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度アセッサー: 2名
- ・社会福祉士(国家資格): 2名
- ・認知症介護実践者研修修了者: 7名
- ・ヘルパー: 1級2名、2級4名

## <研修>

考え方「認知症ケア・個別ケアのプロフェッショナル集団を目指しましょう」

資格取得: 受講料、模試、交通費まで全面的に支援(就業後の勉強会も開催)

Off-JT: 週2回の倫理研修、月末のミニ勉強会、外部研修会への参加

※千葉県松戸市の事業所との交流も不定期に実施



# H28年度後期の活動

## <季節に応じた活動>

日々の活動に、季節感のある行事を交えて生活リズムを作っていきます。

月	活動
10月	秋の調理企画、外食企画
11月	防災訓練、年の瀬の準備、クリスマス装飾作り
12月	年末年始の装飾作り、年越しそば打ち、大掃除用の雑巾作り
1月	正月企画、七草粥、体操指導、書き初め、手作り手ぬぐい
2月	節分、手作り味噌、桃の節句準備
3月	桃の節句企画、お彼岸

## <その他>

- ・ふじしろデイサービスにて、定期実地指導→若芝へも展開
- ・労働基準監督署の定期実地指導→指摘ゼロ
- ・併設のケアマネージャー事業の利用者様が増加(藤代町の近隣からも)



# H29年度へ向けて



## <わたしたちの使命>

利用者様が住み慣れた我が家で、  
健やかな日常生活を送り続けるための支援をしていく

## <認知症ケアを極めていきます>

- 小規模事業所だからできる認知症の利用者様への細やかな支援
- 認知症ケアのスキル・知識を磨き続ける。専門職のレベルアップ。
- よろず相談所として様々な相談窓口になれる組織を目指す。
- 地域の安心に繋がる事業所であり続ける。

## <地域との関わり>

～オープンで信頼される事業所であるために～

挨拶・声かけ

来所者＝お客様

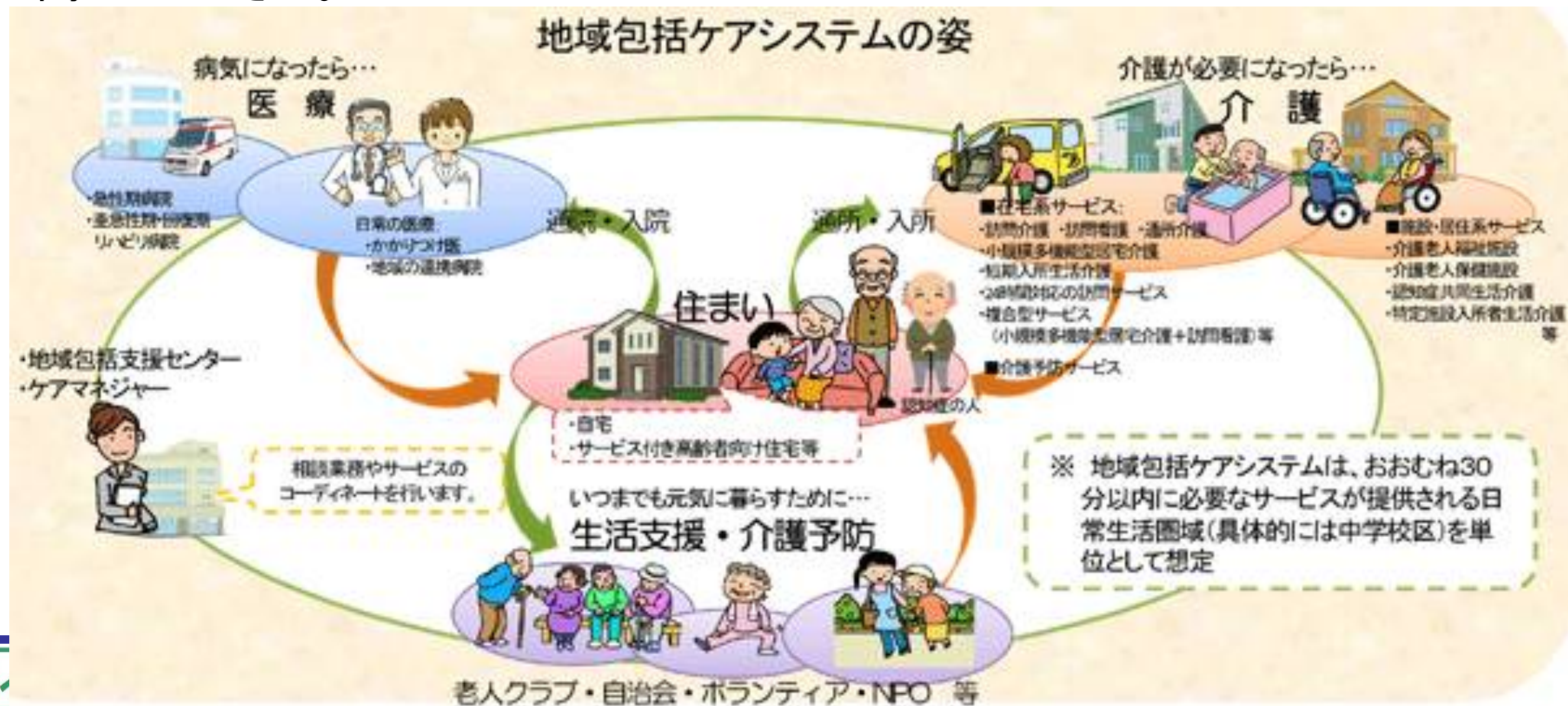
藤代町かかわりを最優先

# 地域包括ケアシステムの中のふじしろ・若芝

高齢者が増え続けていく現在において、住み慣れた地域で暮らし続けるためにはどうしたらよいのか。そのモデルが国の提唱する地域包括ケアシステムです。

大げさなことではなく、「自宅での生活、時々入院」の生活を実現させるために公的機関・民間・地域の住民がつながっていくということが理想です。

この運営推進会議もそのシステムを絵に描いた餅にしないよう藤代町の生活エリアにおいて、「顔の見える関係づくり」を進めて、困ったときに互いに声を掛けあえるようにするためのきっかけとなればと考えます。ふじしろデイサービス・デイサービス若芝がその中でどのような役割を求められ、果たしていくか是非、困りごとをお聞かせください。





# 認知症初期集中支援チーム

こんな困りごとが聞かれます。

「認知症と思われるけれども本人がかたくなに病院に行く事を拒否している」

「お風呂に長いこと入っていない」「介護のサービスを使いたいけど本人が拒む」

「デイサービスに行く事も本人は望んでいない」「サービスにつながらない」

⇒そんな時にどうしたらいい？1つの相談窓口として、

三島市には認知症初期集中支援チームが発足しています。

医療・介護の専門職と認知症サポート医がチームとなり、医療や介護のサービスに繋がるようにサポートします。

サポートの対象となる方は

三島市に住民票がある40歳以上の人で次のいずれかに該当する人です。

医療サービス・介護サービスを受けていない人、又は中断している人で

- ・ 認知症の診断をうけていない人
- ・ 継続的な医療のサービスを受けていない人
- ・ 適切な介護保険サービスに結びついていない人
- ・ 認知症と診断されたが、介護サービスが中断している人
- ・ このほか、医療・介護のサービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している人です。

まずは、お住まいの地域を担当する地域包括支援センターにご相談ください。

〔三島市HP〕

ふじしろ／若芝でも、既に集中支援チームからの相談事例があり、積極的にかかわっています